



# 梅内聚落だより



聚落ホームページ

臨時号

8

第 号

令和4年10月27日

## 島根県の視察をご報告します

(今年度実施している国の補助事業による研修です)

テーマは移住定住。

10月11～13日、聚落協議員を中心に5名で行ってきました。

外からの人の移住が増えて人口の減少に大きくブレーキがかかっている、島根県益田市の真砂地区と二条地区を視察してきました。

どちらも人口は梅内と同じぐらいの小さな集落で、地理的には梅内よりももっと山間部かなという印象の集落でした。

### ☆☆ 真砂地区 ☆☆

Q 移住者が増えた理由はなんですか？

A 食育、里山保育など、地域全体で子育てする方針に共感する若い世代が移住してきたから

Q 子どもは増えたのですか？

A 集落の小学生と中学生のほとんどが、移住者の子供です！



### ☆☆ 二条地区 ☆☆

Q 移住者が増えた理由はなんですか？

A トラブルが後で起きないように、宅建資格者の力を借りて空き家を提供できたことです。

Q どれぐらいの移住がありましたか？

A これまで46組86人の移住があり、出て行ったのは4組です。

両地区とも人が移住してくるのは普通のことになっていて、そのことに驚いている我々に、逆に新鮮さを感じているように見えました。

また両地区とも地区内の使える空き家が埋まってしまい、新たな移住希望者を受け入れる余地がなくなっていることが、今の課題だと言っていました。

このように成功している実例を目の当たりにしたことで、移住定住は不可能なことではないんだと改めて実感しました。(近年は日本の社会全体でも移住指向が高まっています)

梅内には他の地区にはない強みがいくつもあります。その強みをしっかり活かして根気強く取り組むことができれば、必ずや先が開けてくるのではないかと強く感じました。

コーホート法による梅内の人口予測 現在=400人 → 20年後=200人 → 40年後=50人  
何もしないでいると確実に起こる(すでに起こっている)未来です。単なる推測ではありません。

※年内には聚落内の空き家の調査をはじめの予定です

裏面は11月と12月の視察の参加案内です↓

## 視察参加者の募集・・・岩手県葛巻町

11月15日前後、1泊2日、10名募集 //

森林組合が個人有林を長期的に一括管理している  
薪を首都圏に販売している  
太陽光・風力・バイオマス発電の先進地  
葛巻ワイン、チーズ、ヨーグルト、パンなどを製造  
※くずまき高原牧場内の宿に宿泊予定



## 視察参加者の募集・・・岡山県西栗倉村

12月5日(月)～6日(火)、1泊2日、18名募集 //

個人有林を植栽から伐採まで総合的に管理する会社がある  
山から出た材を製材したり木製家具を作る会社がある  
木質発電や薪ボイラーでの給湯をしている  
ベンチャー企業が多く起業し若者の移住が増えている  
子どもも増えて保育園を新築した  
その他  
※冷泉を薪ボイラーで沸かしている村の宿に泊まります

奇跡の村と呼ばれ、注目を集めている村です



若い方や女性もぜひ！

参加申し込み：11月6日までにお近くの協議員へ伝えてください

梅内の未来のため、ぜひ一緒に見学・勉強しに行きましょう！